## 【授業科目】災害看護学 Disaster Nursing

担 当 教 員		開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィス アワー	教職員への 授業公開
小寺 直美、多次 淳一郎		4 年次 前 期	選択	1	1 5	講義	あり	巻末 掲載	可
授業概要 (内容と進 め方)及び 課題に対す るフィードバック 方法	授業概要/災害への備えは国民の一人ひとりが欠かすことのできない課題となっている。本科目では備えが社会の変化や地域の人々の暮らし・いのちと密接に関係していることを理解し、あらゆる状況に対して看護の役割を果たすために必要な災害看護の基礎について講義やグループワーク、演習で授業を展開する。 課題に対するフィードバック方法/講義中に口頭にてコメントする。								
実務経験に 関する授業 内容	看護師の臨床経験をもつ教員が、看護師として必要な災害看護の知識について、資料・教材を交えながら指導して いく科目である。								
授業の 位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー④「幅広い視野でヘルスケアシステムにおける看護の専門性ならびに関連する多職種の機能・役割を理解し、連携して地域社会に貢献することができる」の達成に寄与している。								
到達目標 (履修者が 到達すべき 目標)	①災害看護の基礎的な知識について説明することができる ②災害時に看護者としてどのような活動ができるのか考え、記述することができる。 ③災害への備えの一環として、身の回りの物を活用した救護の技を習得し実践できる。								
時間外学習 に必要な 内容・時間	第1回事前課題:動画【日本赤十字社】石巻赤十字病院~東日本大震災発動の記録~ を視聴し、感じ、考えたことをまとめる。(60分)第2回~7回事前課題:指定の教科書を読んでまとめておく。(各120分)第2回~7回事後課題:講義内容をふまえて、自己の考えをまとめる。(各120分)第8回:講義・演習を振り返り学びを深める。(120分)課題①:講義終了後にレポートを提出。(詳細は第6回時に提示する。)課題②:能登半島地震(2024年1月1日発生)の被災地で慢性期・復興期にある時期に起こっている健康課題について調べ、それをふまえてあなたの居住地域において将来発生する災害に備えるための静穏期の取り組みについて考えをまとめる。(*詳細は第4回時に指示する。第8回終了時提出) ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間(2単位15回科目の場合:予習+復習4時間/1回)(1単位15回科目の場合:予習+復習1時間/1回)(1単位15回科目の場合:予習+復習1時間/1回)を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。								
授業計画	第1回 災害看護とは(災害看護の歩み、災害医療の基礎知識、災害医療の特徴) 第2回 災害者護の基礎知識、災害サイクル 第3回 災害サイクルに応じた看護活動① 急性期・亜急性期 第4回 災害サイクルに応じた看護活動② 慢性期・復興期(仮設住宅での健康支援) 第5回 災害サイクルに応じた看護活動③ 静穏期(新たな災害への備え) 第6回 被災者特性に応じた看護活動(妊産婦・小児・高齢・障害・慢性疾患・外国人等) 第7回 災害とこころのケア 災害がもたらす精神的影響、こころのケアの基本、被災者や遺族のこころのケア、 被災した支援者のこころのケア、救援者のストレスとこころのケア 第8回 災害時に必要な医療・看護技術(演習) 身の回りの物を用いた応急処置、衛生技術 エコノミークラス症候群予防								①小寺 ②小寺 ③小寺 ④多次 ⑤小寺 ⑥小寺
評価方法 評価基準	レポート 80%(①40%、②40%)、GW・演習 20% レポートの課題,提出期限などは講義中に提示する。								
教科書	庄野泰乃「災害看護学・国際看護学第5版」医学書院 参考書等 講義中に提示する。								
学生への 助言等	災害看護は、災害発生直後から災害サイクルすべての時期において、あらゆる生活の場の人々を対象とした大切ないのちと生活を守るための看護です。授業は講義だけでなく演習やディスカッションを取り入れていますので、積極的に参加し学びを深めてください。								